

【遺跡の概要】

彦崎貝塚は岡山市南区彦崎に所在する縄文時代前期を中心とした貝塚である。その歴史は考古学史においても古く、標識土器が出土している標識遺跡としても全国的に広く知られた遺跡である。昭和23・24年の東京大学による調査では多量の土器や石器、骨角器が出土したほか、縄文時代の人骨も確認されている。

平成15年・16年度に旧灘崎町により史跡指定に向けた範囲確認調査が行われた。調査では縄文時代前期から後期に渡る遺構、遺物が出土し、時期における集落の変遷を確認できる資料を得られた。その後、平成20年に国指定史跡に認定され、同年から岡山市による追加指定範囲確認調査を4年かけて実施している。この調査で彦崎貝塚北部の遺跡状況が確認できた他、縄文時代以降の生活様相を知る手がかりを得られた。

【参考文献】

『彦崎貝塚一範囲確認調査報告書一』 2006 岡山市教育委員会

『彦崎貝塚二範囲確認調査報告書一』 2006 岡山市教育委員会

『彦崎貝塚三範囲確認調査報告書（縄文晩期）一』 2007 岡山市教育委員会

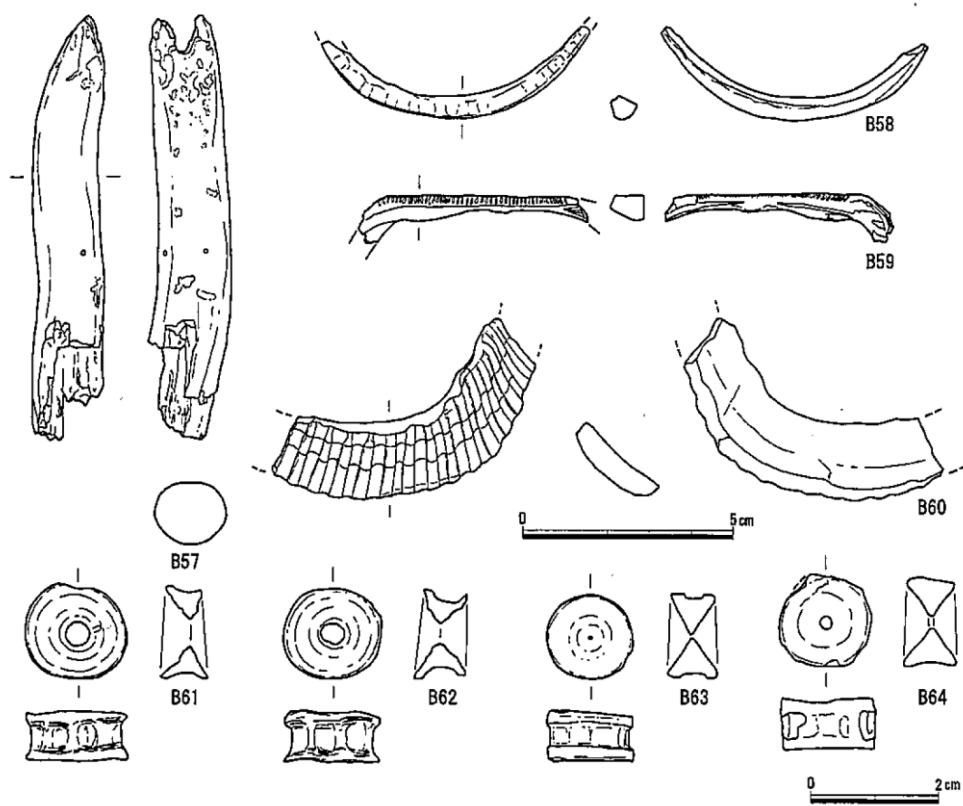
『彦崎貝塚四一史跡指定地周辺範囲確認調査報告書一』 2013 岡山市教育委員会



過去の調査範囲（枠内が平成20年度指定された国指定史跡範囲）



彦崎 Z I 式土器



骨格製品